

建設設計学特論

Advanced Structural Design

2 単位 (選択)

長尾 文明・教授 / 知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース 建設構造工学講座

野田 稔・准教授 / 知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース 建設構造工学講座

【授業目的】 構造物の静的・動的な信頼性・設計の概念から、構造物の安全性の確保について理解する

【授業概要】 構造物に作用する荷重の確率統計的なモデル化とその問題点、構造物の限界状態並びに信頼性理論に基づく安全性の評価手法および関連する最近のトピックスについて解説する。

【授業形式】 講義

【キーワード】 構造物の安全性, 荷重の確率統計的モデル, 構造物の信頼性理論

【関連科目】 『振動工学特論』(0.5)

【到達目標】 構造物の安全性の確保を理解すること

【授業計画】

1. 設計荷重 1
2. 設計荷重 2
3. 設計荷重 3
4. 設計荷重 4
5. 設計荷重 5
6. 構造物の限界状態 1
7. 構造物の限界状態 2
8. 構造物の安全性評価 1
9. 構造物の安全性評価 2
10. 構造物の安全性評価 3
11. 構造物の安全性評価 4
12. 構造物の安全性評価 5
13. 最近の設計に関するトピックス 1
14. 最近の設計に関するトピックス 2
15. 最近の設計に関するトピックス 3

【成績評価基準】 講義への取組み (80%) とレポート (20%) で評価する。

【教科書】 授業中に紹介する。

【参考書】 授業中に紹介する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216638>

【連絡先】

⇒ 長尾 (A515, 088-656-9443, fumi@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

⇒ 野田 (A514, 088-656-7323, noda@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)